

平成24年8月10日

株式会社 山陰合同銀行

## とっつりの森「カーボン・オフセット」パートナー協定調印式開催について ～学校法人として“初めて”の取組を支援～

山陰合同銀行(頭取 久保田 一郎)では、故郷の森を整備・保全する取組を推進するなかで、平成24年8月17日(金)に鳥取県(知事 平井 伸治)と学校法人米子自動車学校(理事長 柳谷 由里、米子市)との間に「とっつりの森『カーボン・オフセット』パートナー協定」(以下、「本協定」という。)を締結し、同日、調印式(別紙)が行われることとなりましたのでお知らせいたします。

鳥取県では、森林整備・保全を推進することを目的として、全国でも早い段階でオフセット・クレジット(J-V E R)制度の活用に取り組まれています。その取組は県内に広く波及し、現在、J-V E R事業登録は県内で7件となり、全国でもトップクラスの事業登録数となっています。また、来年度に鳥取県で開催が予定されている「第64回全国植樹祭」を通じ、森林保全・整備そして緑に対する国民的理解の推進にも積極的に取り組まれています。

学校法人米子自動車学校では、お客様に感謝し、地域の皆様に信頼され支持される自動車学校として「安全な社会」づくりに貢献することを経営理念とし、地域との共生を目指した経営を実践されています。また、鳥取県内では第一号となる交通エコロジー・モビリティ財団認定の“エコドライブ講習”を取り入れるとともに、教習車両においても環境負荷の少ない電気自動車や天然ガス車を導入するなど、環境に配慮した経営を積極的に推進しておられます。

本協定は、「鳥取県J-V E R地域コーディネーター」としての活動を実践するなかで、当行の紹介により、学校法人米子自動車学校が鳥取県の保有するJ-V E Rを50t-CO<sub>2</sub>購入されることとなったものです。学校法人米子自動車学校は、教習車両等から排出される二酸化炭素(以下「CO<sub>2</sub>」という。)を自主的に削減するためにJ-V E Rを活用されるとともに、地域との共生を目的に毎年開催している「米子自動車学校 感謝祭」においても環境負荷低減を目指した活用を予定されています。

さらに、平成24年7月30日(月)に開催された『米子自動車学校 presents ガイナーレサマーフェスタ』において、会場(どらドラパーク米子陸上競技場)の電力使用等に基づき発生するCO<sub>2</sub>をオフセットするためにも活用され、本イベントに参加した子供たちへの環境教育への取組を実践されています。

当行は、環境経営・CSRとしての取り組みを推進される地元企業等への積極的なJ-V E R制度のご案内と、J-V E Rを活用したカーボン・オフセットの提案による企業価値向上の取組支援を通じ、地球環境保全並びに地域経済活性化に資する活動を引き続き推進してまいります。

<次頁に続く>

(別紙)

### <調印式の概要>

- (1) 日 時： 平成24年8月17日(金) 13時05分~13時30分  
(2) 場 所： 鳥取県 知事公邸 第一応接室  
(3) 出席者： (敬称略)  
<鳥取県>  
知事 平井 伸治  
<学校法人米子自動車学校>  
理事長 柳谷 由里  
※以上は調印者  
<当行>  
地域振興部長 足達 明彦  
(4) 式次第： ①開会/出席者紹介(概要説明)  
②調印者署名(写真撮影)  
③調印者挨拶(平井鳥取県知事、柳谷理事長)  
④経緯・取組説明  
⑤質疑応答  
⑥閉会

以上

### 【全体図】

